

全国に広がる 市民と野党の共同 こんどは神戸で

阪神・淡路大震災から22年 「空港より住宅を」—開発より市民を大切に

1995年大震災。多くの市民がまだ避難所にいるときに、市長は神戸空港を推進。「空港より住宅を」と大きな怒りがわき起きました。

「神戸空港建設の是非は市民が決めよう」と住民投票を求める運動では、わずか1ヶ月の間に、30万人以上の署名が寄せられました。神戸市はこの願いに背を向け続けました。

今度も市民の声を聞かず「震災復興は終わった」と三宮一極集中や六甲アイランド南の第4の人工島埋め立て—ふたたび巨大開発をすすめることは許せません。

神戸で作ってきた共同の力で 新しい市政を

全国から多くのボランティアが阪神・淡路大震災の被災地にかけつけ、被災者支援の輪は、市民と野党の共同として発展。国政を動かして被災者生活再建支援法も実現しました。神戸の運動こそ市民の共同のさきがけです。

昨年の参院選の市民と野党の共同は全国で大きな成果をおさめ、沖縄、新潟、仙台の首長選でも勝利しています。

今度は神戸で市民と野党の共同を広げ市政を転換しましょう。

市民にあたたかい
神戸をつくる会共同代表

松田 たかひこ

期待します

兵庫県商工団体連合会会長
磯谷 吉夫さん

新社会党兵庫県本部書記長
菊地 憲之さん

新日本婦人の会県本部会長
岸本 友代さん

兵庫県民主医療機関連合会会長
合田 泰幸さん

兵庫県労働組合総連合議長
成山 太志さん

未来の社会を考える仲間たち
久一 千春さん

日本共産党衆議院議員
堀内 照文さん

安保関連法に反対するママと
有志の会@兵庫
向山 桂子さん

弁護士
吉田 維一さん

神戸大学名誉教授
和田 進さん

公約を投げ捨て 久元市政4年 開発優先で福祉は後退

子どもの医療費無料化を「バラまき」と攻撃

4年前、久元市長は「子どもの医療費はゼロに」を公約。しかし今は背を向けています。

さらに、医療費無料化という子育て世代の願いを「目先の利害得失に目が眩んだバラまき」(「神戸市の挑戦」久元喜造著)と酷評。4年前の市民との約束は、「バラまき」だったのでしょうか?

財政危機を叫ぶ一方で、三宮一極集中の巨大開発

市財政の悪化は「社会保障費の膨張」が原因とする久元市長。熱中するのは三宮一極集中の開発をてこに湾岸道路延伸、新たな人工島建設、神戸空港の運営権売却など大型開発プロジェクトばかり。空港島の土地もほとんど売れ残っているのに、六甲アイランドの南に新たな人工島が必要でしょうか?

憲法9条、核兵器廃絶—市民の願いに背を向ける

7月に国連では「核兵器禁止条約」が採択。安倍首相はこの条約に背を向ける一方で憲法9条の明文改憲に踏み切る構えです。

「核兵器禁止条約を日本政府が批准するように」「安倍改憲論にどういう態度をとるのか」という市議会での質問に、市長は「国の問題」と取り合わず。「平和首長会議」加盟都市であり、非核「神戸方式」をもつ神戸市の首長にふさわしいでしょうか?

予算100%賛成 「維新」

「自民党に支えられる現市長に改革など出来るはずがありません!」(兵庫維新の会ビラ)といいますが、日本維新の会は、久元市長の提案した予算案すべてに賛成する「オール与党」の一員です。自民といっしょに現市長を支えてきたのに、あまりにも無責任ではないでしょうか。

神戸空港まで 高速道路を要求

市長がすすめる湾岸道路の延伸計画。維新の女性市議は、さらに高速道路を神戸空港まで伸ばせと主張。車でたった10分のところに、巨額の税金を使って高速道路を伸ばす必要があるでしょうか?